

次世代情報化推進室

1 Society5.0の実現

【背景等】

若者の県外流出により生産年齢人口の減少が進行し、産業の担い手が減少する中、AI、IoT、ロボット、ビッグデータなど、「第4次産業革命」と呼ばれる新たな技術革新が、これまでにないスピードで進展しています。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大による、社会の急速なデジタル化や、人の考え方、働き方の大きな変化への対応が必要となっています。

本県においても、AI、IoT、ロボット、ビッグデータといった先端技術の利活用による地域課題の解決、地域経済の活性化、県内産業の振興といったSociety5.0の実現を目指し、取組を展開してまいります。

【取組の主な内容】

○Society5.0実現に向けた環境・体制整備

- ・産学官金の連携による「ながさきSociety5.0推進プラットフォーム（仮称）」の立ち上げ
- ・県下全域における固定系超高速ブロードバンド（光ファイバ）の整備促進
- ・第5世代移動通信システム（5G）基地局の設置促進
- ・Society5.0推進に関する意識啓発

ICT利活用による豊かで質の高い県民生活の実現

- ・遠隔医療体制の構築
- ・遠隔授業体制の構築
- ・医療情報ネットワーク、周産期・小児医療支援システムの機能強化 など

ICT利活用による新産業の創出、地場産業の振興並びに地域経済の活性化

- ・AI・IoT・5G、ドローンなどを活用した新産業・新サービス創出
- ・スマート農業による生産性向上
- ・高精度な漁場予測等のスマート漁業の推進
- ・サテライトオフィス、ワーケーション等の誘致 など

行政におけるデジタル化の推進（スマート自治体の実現）

- ・多様な働き方を実現するモバイルワーク（テレワーク）推進
- ・行政手続きのオンライン化、電子行政サービスの整備
- ・マイナンバーカードの普及、利活用の推進
- ・スマート自治体への転換 など